

新規・継続	継続	事業コード	0 - II - 2 - ③		事業名	鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)の推進			
所管課	経営企画部		行革推進課		関連課	経営企画課、財政課			
事業目標	厳しい財政状況の中で、事業そのものの廃止も含め、事業のあり方や手法、担い手等を外部の視点から見直すことにより、より効果的、効率的に事業を運営します。								
特記事項									
事業工程	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	事業費推計(千円)				
	市民事業評価の実施 事務事業評価制度との 統合に向けた準備検討	市民事業評価の実施	市民事業評価の実施	市民事業評価の実施	政策	2,148			
					経常	0			
					合計	2,148			
予算額 (千円)	1,673	1,236			2,909				
事業実績	鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)の実施 事務事業評価制度との 統合に向けた準備検討	鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)の実施 事務事業評価制度との 統合に向けた準備検討							
決算額 (千円)	1,362	847			2,209				
具体的(数値)期間目標	市民事業評価の対象となった全事業について評価結果等を踏まえた見直しを行い、効果的・効率的な事業運営を図ります。								
期間目標に対する達成率	30%	90%							
協働の相手方	☐ 市民 ☐ 事業者 ☐ NPO ☐ 自治・町内会 ☒ その他(政策研究機関)								
事業履歴備考									
事業実績(詳細)									
平成24年度	・予算体系上の5中事業を対象として鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)を実施しました。評価結果としては、全事業「要改善」となりました。これを受けて市では、5全事業を「要改善」と判断しました。その結果、平成25年度当初予算で約12,880千円の財政効果がありました。 ・事務事業評価制度との統合に向けた検討を行いました。				補正・流用・繰越の有無 ☐ 有 ☒ 無				
平成25年度	・予算体系上の5中事業を対象として鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)を実施しました。評価結果としては、全事業「統合・再構築」となりました。これを受けて市では、5全事業を「統合・再構築」と判断しました。その結果、平成26年度当初予算で約10,521千円の財政効果がありました。 ・市民が討議人・評価人の両方を担うことで本市が抱える課題の共有化が進みました。 ・会場を1カ所にしたことで、関係職員が討議内容を把握しやすくなり、取組方針を検討する際にも、事業の本質を深く掘り下げた検討ができました。インターネット中継を実施したことで、より多くの方々が傍聴でき、本市の課題の共有が進んだものと考えています。 ・平成22年度から改善を加えながら続けてきましたが、今年度の実施をもって一応の完成形に至ったと考えられること、総合計画の見直しや包括予算制度の導入によって、事業の見直しも別のステージで検討されることなどから、従来の形での評価の取組みは今年度をもって終了することとします。 ・今後は、事務事業評価や施策進行評価など他の評価手法との関係や評価対象などを精査するとともに、市民ニーズを的確に把握する方法などについて検討を進めていきます。				補正・流用・繰越の有無 ☐ 有 ☒ 無				
平成26年度					補正・流用・繰越の有無 ☐ 有 ☐ 無				
平成27年度					補正・流用・繰越の有無 ☐ 有 ☐ 無				